

地方独立行政法人大阪市博物館機構
令和 6 事業年度の業務実績に関する評価結果

令和 7 年 9 月

大 阪 市

1 地方独立行政法人大阪市博物館機構の評価の考え方

市長は、地方独立行政法人大阪市博物館機構について、「地方独立行政法人大阪市博物館機構にかかる業務実績評価実施要領」に基づき、次のとおり令和6事業年度の業務の実績に関する評価を行った。

(評価の基本方針)

- 1 評価の目的は、年度計画、中期計画の進捗状況等を目標の達成状況や具体的な事例等により評価し、組織・業務等に関する改善すべき点等を明らかにすることにより、法人運営の質的向上及び大阪市ミュージアムビジョンに掲げる「都市のコアとしてのミュージアム」の実現に資することとする。
- 2 市民への説明責任の観点から、中期目標の達成に向けた法人の取組状況等を分かりやすく示すこととする。
- 3 評価の方法については、法人を取り巻く環境変化等を踏まえ、必要に応じて見直すこととする。

(評価対象事項)

地方独立行政法人法第28条第1項で定める事業年度評価について、前事業年度における業務実績評価を行う。

(事業年度評価)

1 評価の方法

事業年度評価は、各事業年度の翌事業年度に「小項目評価」「中項目評価」及び「全体評価」により行う。

「小項目評価」では、当該年度の年度計画に掲げる事項ごとに、法人による自己評価の結果をもとに、年度計画の進捗状況や業務実績に関する事実確認をするとともに、法人の自己評価の妥当性の検証と評価を行う。

「中項目評価」では、当該期間の中期目標に掲げる事項ごとに、「小項目評価」の結果や、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況を踏まえ、評価を行う。

「全体評価」では、「小項目評価」及び「中項目評価」の結果等を踏まえ、当該事業年度における中期目標の達成に向けた進捗状況について、記述式による総合的な評価を行う。

2 具体的な評価の進め方

(1) 「小項目評価」「中項目評価」について

「小項目」「中項目」につき、その達成度を5段階で評価を行う。

ア 法人は、各事業年度の終了後 3 か月以内に各館ごとの自己評価を基に作成した当該事業年度における業務実績の自己評価結果を、経済戦略局に提出する。

(ア) 法人は、年度計画の「中項目」ごとの進捗状況について 1～5 の 5 段階で自己評価を行い、業務実績報告書を作成する。評価にあたっては、定量的な指標に基づき行うことを基本とした上で実施する。

(イ) 業務実績報告書には、自己評価のほか、評価の判断理由（実施状況等）など、特筆すべき取組や遅れている取組の理由、法人運営を円滑に進めるための工夫、今後の課題等を記載する。

(ウ) 自己評価の区分は次のとおりとする。

5：年度計画を大幅に上回って実施している

4：年度計画を上回って実施している

3：年度計画どおり順調に実施している

2：年度計画を十分に実施できていない

1：年度計画を実施できていない（未実施）

イ 経済戦略局において、法人による自己評価に対する市長評価（案）を作成する。

経済戦略局において、法人の自己評価、目標設定の妥当性及び目標への取組等を総合的に検証し、年度計画の進捗状況について、1～5 の 5 段階による評価を行う。

(ア) 評価区分は、法人の自己評価の区分と同様とする。

(イ) 市長による評価と法人の自己評価が異なる場合は、市長による評価で判断理由等を示す。また、必要に応じて、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。

(2) 「全体評価」について

経済戦略局において、各小中項目の評価結果や中期目標の達成に向けた進捗状況を踏まえ、総合的な評価を「全体評価」として記述式で市長評価（案）を作成する。なお、評価項目にはない事項でも中期目標の達成に資するものは、ここで評価を行う。

(3) 評価委員会について

評価委員会を開催し、法人の自己評価に対する市長評価（案）に関して評価委員会が意見を申述する。その意見を踏まえた評価を最終的な評価とする。なお、委員から次期事業年度に向けた改善等の意見があれば、併せて記載する。

2 全体評価

以下のとおり項目別評価の結果を踏まえ、大阪市地方独立行政法人大阪市博物館機構評価委員会における評価委員の意見を参考に、令和6事業年度における地方独立行政法人大阪市博物館機構の業務実績に関する全体評価を定めた。

地独) 大阪市博物館機構の令和6事業年度の業務実績について、第2期中期目標期間の初年度であり、大阪・関西万博を翌年に控える中、市立美術館、東洋陶磁美術館、科学館のリニューアルオープン等に取り組み、概ね計画どおりに実施したと評価する。

中でも、リニューアルオープン記念展覧会や、各館における常設展、企画展、特別展で年度目標を上回る来館者数の実績をあげたこと、館蔵品のデジタル化、国際的な財団との連携によるアプリの導入によって国際的なプラットフォームに参加しさらに新たな収入の確保にも繋げた点は、高く評価する。さらに、大阪博やデジタル大阪ミュージアムの展開、ユニークベニュー実施における先行事例の各館での共有など、6館一体の取組みも進めた。

一方で、大阪市博物館機構事務局がガバナンスを効かせた中長期的視点に立った事業の展開や各館を横断した施策の実施、並びに国際的な連携・発信については、大阪・関西万博を契機として更なる取組の実施を求めたい。

今後、博物館等を運営する日本初の地方独立行政法人として、経営と運営の一元化の効果をより発揮し、地方独立行政法人のメリットを最大限に活かした施策を一層進めてもらいたい。

3 項目別評価

別添の達成度評価シートのとおり令和6事業年度の業務実績を項目別に評価した。

別添

達成度評価シート（令和6事業年度 実績評価）

〈評価点〉
5点：年度計画を大幅に上回って実施している
4点：年度計画を上回って実施している
3点：年度計画どおり順調に実施している
2点：年度計画を十分に実施できていない
1点：年度計画を実施できていない（未実施）

中項目				小項目			評価委員会 意見（要旨）		
内容		市長評価		法人 評価	内容			評価	
		評価の理由	評価					市長	法人
1	各種活動の基盤をなす専門的人材及び博物館等資料の充実並びに施設及び設備の整備	各館において、適正な職員配置や採用を行い、人材育成に取り組んでいる。博物館資料に関しても、調査・研究・データ化を進めている。大規模改修を行った市立美術館・科学館や歴史博物館においてバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を図るなど、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	1	博物館等運営の中核を担う専門的な人材の安定的確保及び育成	3	3	・ 調査研究の各項目にかかる実績等については、そもその方針や全体の方向性がよりみえるかたちで記載する必要がある。
					2	博物館等資料に関する調査研究	3	3	
					3	博物館等資料の保管に関する調査研究	3	3	
					4	博物館等展示に関する調査研究	3	3	
					5	博物館等の運営に関する調査研究及び評価	3	3	
					6	博物館等資料の収集、整理及び提供	3	3	
					7	博物館等資料の保全及び効果的な活用のための計画的な修復	3	3	
					8	防災及び防犯を含めた博物館等資料の適切な保管及び将来への継承	3	3	
					9	ICTを活用した博物館資料のデジタル・アーカイブ化及び有効利用	3	3	
					10	博物館等の機能維持並びに適切な利用環境の確保に向けた施設及び設備の計画的な整備及び改修	3	3	
					11	バリアフリー及びユニバーサルデザインに配慮した施設及び設備の計画的な整備・改修	3	3	
					合計		33	33	
					2	幅広い活動及び連携を通じた博物館等の魅力向上	「デジタル大阪ミュージアム」のコンテンツを充実させるとともにオープンデータ化を進めた。また、常設展・特別展ともに目標を超える来館者を迎えたほか、市立美術館においてユニークペニユーの先行実施を行い、それを他館に共有するなど、全体として計画を上回る取組、成果があったものと評価する。	4	
13	所蔵するコレクションを積極的に活用した来館者への鑑賞機会の確保（常設展）	4	4						
14	所蔵するコレクションを積極的に活用した来館者への鑑賞機会の確保（自主企画展）	4	4						
15	来館者の利便性向上に向けた開館時間の延長	3	3						
16	博物館機構一体としての各館の連携事業等の実施	3	3						
17	博物館等資料の貸出及び借用を含む他の博物館等関係機関との相互支援及び協働	3	3						
18	各館の建物及びその附帯施設等を有効活用した幅広い事業の展開	4	4						
合計		24	25						

中項目				小項目				評価委員会 意見（要旨）	
内容		市長評価		法人 評価	内容		評価		
		評価の理由	評価				市長		法人
3	3 国際的な連携・発信	国外の学会等において研究発表及び人的交流を図るとともに、国内外の関係機関と資料の貸借を通じて連携を促進するなど、全体的に計画どおり取組が行われていると評価する。	3	3	19	国際会議やシンポジウム等における各種活動成果の発表等	3	3	・大阪・関西万博の開催を翌年に控えた年なので、計画を超えた取り組みをしてもらいたかったところである。
					20	海外の他の博物館等関係機関との学術交流による人的ネットワークの形成	3	3	
					21	博物館等資料の貸出及び借用を含む他の博物館等関係機関との相互支援及び協働（再掲）	3	3	
					合計		9	9	
4	戦略的広報の展開及び各種活動の成果の発信	プレスリリース配信サービスの導入及び、SNSを活用し広報発信の強化を行うとともに、人流データやアクセス解析結果、アンケートの分析結果を基にした効果的な情報発信など、広報・プロモーション活動を積極的に進めており、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	22	2025年大阪・関西万博を契機とした博物館等の周知及び来館者の獲得	3	3	・リニューアルオープンや大阪・関西万博など話題にこたえないが、プロモーションだけに走らず実態もより重視して取り組んでもらいたい。
					23	エビデンスに基づいた戦略的広報の展開	3	3	
					24	学芸員の専門的な知識を活かした広報の展開	3	3	
					25	他の博物館等関係機関との連携及び協働を通じた広報の展開	3	3	
					26	多様な媒体及び手段を通じた各種活動の成果の発信	3	3	
					合計		15	15	
5	ソフトの充実及び来館者の受入れ体制の整備	東洋陶磁美術館・科学館・市立美術館のリニューアルオープン展で多くの来館者を迎えた。科学館・中之島美術館での開館時間延長をはじめ、東洋陶磁美術館・歴史博物館での夜間開館の実施や、パンフレットの多言語化、館内サインの充実に努め、来場者目線に立ったサービス向上を図るなど、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	27	2025年大阪・関西万博を契機とした博物館の周知及び来館者の獲得（再掲）	3	3	・リニューアルオープンや話題性のある展覧会により、多くの来館者を獲得したことは評価できる。 ・夜間開館は、近隣のイベントに合わせるなど、単独ではなく周辺施設と連携した取り組みも必要。
					28	所蔵コレクションを積極的に活用した来館者への鑑賞機会の確保（再掲）	4	4	
					29	文化観光拠点として集客力のある展覧会の誘致及び開催	4	4	
					30	来館者の利便性向上に向けた開館時間の延長（再掲）	3	3	
					31	多言語表記やＩＣＴの活用等によるさまざまな来館者への快適な鑑賞環境の提供	3	3	
					32	施設内外における来館者目線に立った分かりやすいサイン表示の充実	3	3	
					合計		20	20	
6	周辺エリアで活動するさまざまな事業者等との連携	市立美術館のハルカスこども美術館との連携事業や、自然史博物館の長居植物園と連携したシンポジウムの実施、歴史博物館の民間事業者とのイベント企画・実施や難波跡公園との連携準備など、各館とも積極的に周辺施設と連携しており、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	33	周辺エリアで活動するさまざまな事業者等との連携	3	3	
7	民間企業等との協働等	国際的な財団と連携したアプリの導入は高く評価できる取組みである。各館ショップやカフェ事業者と連携し商品開発やサービスの充実を図るほか民間事業者等へのデータの提供など、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	34	各館のミュージアムショップ、カフェ等における民間企業等と連携したサービスの充実	4	3	・アプリの導入について、国際的なプラットフォームに参加できたことは高く評価できる。
					35	民間企業等との協働による各館の活動に関連する商品及び技術の開発	3	3	
					36	各館の専門性や博物館資料を活用した民間企業等の活動の支援	3	3	
					合計		10	9	

中項目					小項目				評価委員会 意見（要旨）
内容		市長評価		法人 評価	内容		評価		
		評価の理由	評価				市長	法人	
8	子ども及び教員等への支援	東洋陶磁美術館で家族や友人と会話しながら気兼ねなく鑑賞できるスペシャルファミリーデーの開催や、自然史博物館での子ども向けワークショップ及び教員を対象とした研修の実施など、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	37	子ども及び教員等への支援	3	3	・ファミリーデーについて、良い取組であり、国立館でもこの2年実績を重ねて参加者が増えたので、もっと広報するとよい。
9	幅広い来館者への支援	大学への講義の提供や大阪商工会議所との包括連携に基づく協力に加え、実習生の受入れなどの教育普及事業を行うなど、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	38	幅広い来館者への支援	3	3	・“幅広い”来館者とは、インクルージョン、ダイバーシティという観点から対象を捉える必要がある。
10	参画機会の提供	ボランティア等が参画する行事の開催や、NPO団体との協働事業を実施するとともに、市民の活動・学習成果発表の場を提供するなど、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	39	ボランティアやNPO等の各館の活動への参画の促進	3	3	
					40	各館の活動に関するさまざまな人々との対話の機会及び場の設定	3	3	
					41	さまざまな人々が自らの学習成果を活用して行う教育活動の機会の提供及びその奨励	3	3	
					合計		9	9	
11	経営と運営の一元化による効果の発揮	中長期的な視点を備えた事業については、広報だけでなく施策の企画も進めてもらいたい。グループウェア等を活用した経営会議の議決事項の共有等による組織のガバナンス強化、各館の事業成果やノウハウの共有、実施した施策の効果検証と次年度施策への反映など、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	42	全職員に対する博物館機構の経営理念及び活動方針等への理解の促進によるガバナンス強化	3	3	・第2期中期目標からガバナンスの評価項目が入ったことはとても良い。 ・事務局がよりイニシアチブを取り、6館一体運営のメリットが生きるよう、ガバナンスを効かせて取り組んでもらいたい。 ・各館の横断的な取組み（特に人材の交流や対話）をしっかりと進めてもらいたい。 ・美術館・博物館を運営する日本で唯一の地方独立行政法人として、そのメリットをもっと生かせるように取り組んでもらいたい。
					43	中長期的な視点を備えた事業の企画及び実施	3	3	
					44	各館におけるノウハウや事業成果、課題等の博物館機構全体での共有	3	3	
					45	エビデンスに基づいた戦略による事業の実施及び評価	3	4	
					46	PFI事業に係るモニタリングによる大阪中之島美術館の安定的な運営	3	3	
					47	ICTの積極的活用等による業務の効率化	3	3	
					48	より一層のサービス向上実現に向けた民間活力の導入、渉外及び広報機能の強化	4	4	
					合計		22	23	
12	内部統制の強化	コンプライアンス研修の実施をはじめ、内部統制環境の推進にかかる取組を進めるとともに、BCP策定に向けて着実に進めるなど、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	49	内部統制の強化に向けた環境整備	3	3	
					50	事業継続計画（BCP）の策定及び継続的改造	3	3	
					合計		6	6	
13	職員の育成に向けた取組	職員の資質向上のための研修や人事交流、専門人材の受け入れなどを実施しており、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	51	職員の育成に向けた取組	3	3	
14	収入の確保	施設利用料及び特別展の上限額を再設定するとともに、市立美術館ではユニークベニューについて計画に留まらず実施した。また、各館が民間企業と連携した商品開発等を行い、自然史博物館においてはニーズの高い商品も開発した。さらに、国際的な財団との協業を寄附金確保につなげ新たな収入の手法を確保するなど、全体として計画を上回る取組、成果があったものと評価する。	4	4	52	収入の確保	4	4	・収入の確保の項目について、定量評価と定性評価の成果が見えにくいので、計画段階でできる限り目標を数値化すると評価が明確になる。

中項目				小項目				評価委員会 意見（要旨）	
内容		市長評価		法人 評価	内容		評価		
		評価の理由	評価				市長		法人
15	外部資金の獲得	外部資金獲得に向けた他機関の調査や、外部資金の獲得に関する各館のノウハウの共有、また、科研費や文化庁補助金の採択など、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	53	外部資金の獲得	3	3	・ 科研費に新たに10件採択されたことはとても良い。
16	経費の軽減	事業のスクラップアンドビルドを積極的に行うとともに、適切・効率的な契約手法の検討や、文書管理システムの活用により経費縮減につなげるなど、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	54	経費の縮減	3	3	
17	SDGsの理念に基づく取組の推進	多様性に配慮した雇用を行うとともに、サインの設置やトップランナー機器の導入などSDGsの理念に基づく取組を行っており、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	55	SDGsの理念に基づく取組推進	3	3	
18	来館者の安全確保	BCP策定にかかる調査を行うとともに、災害時の安全確保に向けた訓練や緊急時の対応に備えるなど、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	56	来館者等の安全確保	3	3	
19	情報公開の推進	ホームページやSNSを通じて積極的に情報を発信しており、全体として計画通りの取組が行われていると評価する。	3	3	57	情報公開の推進	3	3	
合計			59	59	合計		179	180	